

旧朝比奈小学校の黒松



南側からの樹姿



昭和44年当時の旧朝比奈小学校と黒松

よみ きゅうあさひな
しょうがっこうのくろまつ

指定 市指定天然記念物

所在地 御前崎市上朝比奈2681-2
朝比奈中央広場

所有者 御前崎市

指定日 令和3年3月24日

解説



旧朝比奈小学校の黒松(西側より撮影)

「旧朝比奈小学校の黒松」は、根周り3.9m、幹周囲が2.9m、樹高12.7mで樹齢は160年と推定されています。現在朝比奈中央広場がある近辺に明治22年7月に朝比奈小学校が設置されていることから、この頃にクロマツの若木を植えたのか、近隣のクロマツを移植したと考えられます。

その後、昭和52年に朝比奈小学校が閉校するまでの88年に亘る長い間、朝比奈地区の人々は子供の頃から「旧朝比奈小学校の黒松」を眺め続け、大人になっても深い愛着を持っていたため、朝比奈中央広場を造成した際にも伐採されずにその一角に残されたと思われています。

現在は、朝比奈中央広場の南端に位置し、周辺に陽光を遮るものがない独立樹の一本松となっています。土壌は硬く締っていますが、クロマツは耐堅密性樹種であり、また、土壌Phも高いものの適合する範囲にあり、北側と西側に枝がないが他方向から廻り込んでおり、製枝剪定され樹勢、樹形ともに概ね良い状態に保たれています。

市内に生育するクロマツの中で最大級に属するもので、また、樹木の由来も旧朝比奈小学校の歴史と深い関わりを有するものと認められ、旧朝比奈小学校の景観を伝えている点からも貴重な樹木と判断されます。